

議会だより

北島町議会

第18号
発行
北島町議会
広報編集
特別委員会

中学生の質問と解答要旨

中学生との一般会議の質問と回答を要約して掲載します。

① 北島町も人口減少する可能性がある。人口減少を食い止める対策はしているか。(2A赤木夕記)

徳島県内の市町村が半減するとの予想がある。子育て支援が有効な対策であり、子どもの貧困率の減少や若者の



自殺減少などの対策が重要であると考える。(中野議員)

② 北島町を紹介する時ひょうたん島だということしか思いつかない。どのような紹介をしているか。(2C石川うらら)

徳島県下一小さい町。四国一人口密度が高い。高速道路で阪神・四国内と繋がっているなど。(中議員)

③ 北島町では定期的に清掃する日を決めて清掃を行っているか。(2A木本美舞)

五月に町内一斉清掃を行っているほか、毎月一回庁舎周辺を職員が清掃を行っている。アドプト事業に十一団体が参加し、植木や道路などの清掃活動を行っている。(坪内議員)

④ 議会はよりよい北島町にするために大切にしている考え方や企画は。(1A小林未知)

厳しい倫理条例を設け、北島町民に對しての奉仕者であることを心に刻み多くの提案をしている。町長から提出された提案に対し判断をしている。町民の生命財産を守る使命を負っている。(羽坂議長)

⑤ 政務活動費の使われ方が問題になっているが、北島町ではどのようになっているか。(2B増田七海)

北島町を含め県内町村では政務活動費の制度は無い。一部議員の不祥事で議員全体が同じように見られている。(武山議員)

⑥ 南海トラフ巨大地震に備え町はどのような取り組みをしているか。また議員はどのような動きをするのか。(1B森本花奈)

震災前の予防策として、毎年1回防災訓練を実施している。地震後についても災害マニュアルを作成している。議員については、申し合わせ事項を策定し、町の災害対策本部と連携し、情報収集をするようにしている。(武山議員)

⑦ 台風後など後の町内の見回りは、どのようにしているか。(2A森由衣)

翌日に町内を分割し、職員が見回り、対処している。(北島議員)

⑧ 北島町の魅力発信や地域活性化のために行う予定のイベントはありますか。(2E山崎舞衣)

町民運動会のほか年間十二のスポーツ行事と三つの文化系行事、チューリップフェアや社会福祉協議会も様々な行事を実施。町報等各広報紙を参考にしてください。(大溝議員)

⑨ 高齢者ドライバーの安全面や事故対策は。(2F出原舞妃)

高齢者対象の講習会の開催や免許センターにおいてシミュレーターによる講習などの開催。ヘルメット着用や自転車保険促進などの事業を行っている。(中議員)

⑩ 児童の登下校の安全対策についての取り組みで、街灯を明るくしてほしい。(1F榎本藍花)

街灯の設置の間隔や明るさに規定は無い。街灯のLED化を推進している。暗くても街灯を設置できないところが多い。(板東議員)

⑪ 北島町から国際的人材を輩出するために国際交流研修事業の他に取り組んでいることは。(2A大西遥菜)

国際交流会館で年間を通じいろいろな事業を行っている。現在国際交流会館では十二カ国以上、六十一名が徳島大学に在籍している。(増谷議員)

⑫ 不審者対策、子ども一〇番などの取り組みについてどのようにしているか。(1E鳥海明花)

子ども一〇番の家は、約五十件指定されている。各小学校に地図が掲示されている。不審者情報があった場所には、幟を立て啓発している。(板東議員)

⑬ 環境保全のために何かしているか。清掃センターから有害物質は排出されていないか。(1B 田村美咲) 家庭へゴミカレンダールを配布し、その中にゴミの排出方法を提示している。4R運動を実施している。清掃センターの排出されている物質は、国の排出基準に適合している。現在、ゴミの焼却を二市四町で協議し広域化を進めている。(増谷議員)

高齢化率は、二三・五一%となっていて徳島県では三番目に低い数字です。介護保険により、高齢者の状況に応じて施設支援、在宅支援、医療支援などを行っている。(中議員)

⑮ これから企業誘致・企業進出の計画があるか。(2G 安崎秀汰) 大鵬薬品が進出し、第三次工事に掛かっています。中村地区には量販店の進出が予定されており、その他少しずつありますが、進出の予定があるようです。(伊勢議員)

総務常任委員会研修

京都府宇治田原町

開かれた議会傍聴の規則

日時：平成二十九年二月七日(火)

宇治田原町議会は、議会基本条例を平成二十四年十月一日に制定し、平成二十五年四月より実施。

この条例の議会活動の原則第二条「議会は情報公開に取り組む責務を有する」「議会は住民が傍聴しやすい環境の整備に努めるもの」、また第四条「全ての会議を原則として公開する」

これらの点から、今回議会傍聴規則を「議会傍聴する時、住所、氏名、年齢の記載が不要で、カメラ・ビデオの撮

影及び録音に関しても自由とする」と改正している。

原則傍聴人の区別はなく、子連れでも可能で平均十五〜三十名であり「原則禁止」から「原則許可」に条文を改め、平成二十七年七月一日より実施しています。

委員会傍聴は、案内スペースの事情で五名までとしている。

議会報告会は、常に参加者の顔ぶれが変わらない点から、今後一般会議等への検討をしていくとのことであり、参加者は十一の地区長がまとめの傾向がある。

また動画配信は、新庁舎工事が平成



三十二年に予定しており、その時に設備する予定である。

議会議員選挙の無投票はなく、若い方の立候補を促す機運はなく、地区からの立候補が多く、継続されている。

文責 武山光憲

大阪府泉佐野市

三十歳の成人式開催

日時：平成二十九年二月八日(水)

視察目的は、人口動態対策の一環として、Uターンに取り組んでいる「三十歳の成人式」を勉強することです。

人口動態には、自然増減と社会増減の人口推移がありますが、泉佐野市では、総人口が平成二十七年六月末で十

万一千二百四十三人(六年間で一千八百九人減)となっており、二〇四〇年には九万人を割りこむと予測されています。年少人口、生産年齢人口とも減少の見込みになっています。

この状況の中、泉佐野市は、人口の自然減少への対策と、社会増減の対策に、「三十歳の成人式」もあり

ですが、インバウンドにシフトしている現状が見て取れました。LCCを関空に移し、また関空自体の関連施設の拡張もあり、従業員の雇

用が増えており、若者の定住も増えていくとのことです。また訪日外国人の増加により、周辺に宿泊ホテルが増え、それに伴い、飲食関係も増え、今後一層転入者が増加していくと予測しています。

次に「三十歳の成人式」ですが、全国自治体において、民間主体では、多く実施されていますが、行政主体の開催は初めてで、平成二十六年より開催され約九十人(男女半々)が参加しています。

イベント会社にプロポーザル方式で、運営を百五十万円程で民間委託しており、平成二十九年二月十二日(日)にバレンタインパーティーと銘打って、泉佐野市に縁がある二十五歳から四十歳までを対象に、定員百名で実施しますが、泉佐野市の良さを再認識するのが目的という事です。

全国自治体で実施しているUターンについての、自治体の補助(移住費用、家賃、結婚費用、学生の奨学金等)はしていないとのこと。

この件は、北島町でも検討できると考えています。

文責 武山光憲

議会広報編集特別委員会では、議会だよりの読者の方からの御意見・御感想を募集しております。多数の投稿をお待ちしています。